



第6期：平成 26年度事業報告

平成 26年 4 月 1 日～平成 27年3月 31 日



目 次

I. 経緯	2
II. 実施事業	3
(1) 障がい者福祉サービス介護保険に係る事業	
1. 障害スポーツに関する研究・普及ならびに支援事業	3
1-1. 障がい者スポーツ団体組織化および運営支援事業	
1-2. 障がい者スポーツ研修会・大会への参加	
2. 障がい者（児）および高齢者のデイサービス事業	4
2-1. 日中活動系サービス事業	
2-2. 放課後等デイサービス事業	
2-3. 日中一時支援事業（児童）	
2-4. 介護保険通所介護・介護予防通所介護事業	
2-5. 居宅介護支援事業	
3. 障がい者スポーツ用品製作及び販売	10
3-1. 障がい者スポーツ用品の試作・製作	
4. 障がい者（児）および高齢者の居宅訪問介護サービス事業	10
4-1. 居宅介護事業	
4-2. 訪問介護事業	
5. 障がい者ならびに障がい者についての啓発に関する事業	12
5-1. 講師派遣事業	
5-2. 同行援護従業者養成研修	
6. 障害者総合福祉法に基づく移動支援事業	12
6-1. 移動支援事業及び同行援護事業	
III. その他の社会貢献	13
(1) 介護等体験実習生の受け入れ	
(2) ボランティアの受け入れ	
VI. 法人の運営に関する事項	14
(1) 平成26年度理事会・評議員会の開催	

I 経緯

平成 16 年 2 月 17 日に特定非営利活動法人の認証を受け名称をアス・ライフサポートとしてスタートした。平成 16 年 7 月に支援費制度（当時）および平成 16 年 8 月に介護保険事業を開始、制度の変遷の波にもまれながら、独自の障がい者支援の道を歩んできた。

平成 20 年 2 月 4 日に第 1 回社会福祉法人アス・ライフ設立準備委員会を開催し、4 回に亘る準備委員会を重ねて平成 21 年 7 月 8 日に山口県から社会福祉法人の認可を頂いた。

翌年に山口県及び山口市の施設整備補助金を受け、念願であった施設建設工事（駅通り）を行い平成 22 年 2 月 26 日に竣工した。

施設の完成により、全ての事業を平成 22 年 4 月 1 日付けにて NPO 法人から社会福祉法人アス・ライフに継承し、新設施設（駅通り）に障がい者自立支援法（当時）による障がい者福祉サービス事業の生活介護・機能訓練・生活訓練事業所を多機能型アス・ライフとして移転した。

平成 23 年度には中園町にある児童（放課後等）デイサービスフォア・アスが山口県の基盤整備補助金を受けて全面改装し、バリアフリー化した。

平成 24 年度には多機能型アス・ライフ（駅通り）に、就労移行支援事業所を追加し、4 月より 6 人定員でスタートし 2 年目に定員を 12 名に増員した。

介護保険部門では、平成 24 年 12 月に介護保険通所介護事業所大市デイサービスセンター及び訪問・居宅・重度訪問介護事業所アス・ヘルプステーションを新築移転した。

それに伴い居宅介護支援事業も新規開設した。高齢者の介護保険部門においては基盤を固め、地域の民生委員等からの相談や利用者の増加など地域に浸透して成果として現れた。平成 25 年度は、地域社会のご支援のもと創立 10 年を迎えることが出来、意義深い年度となった。

当法人の障がい者支援の特色であるスポーツ支援では、日中活動系サービスでの練習機会の提供、ガイドヘルパーによる練習や大会参加の支援を積極的に行った。

今年度は施設整備補助金を受けて平成 27 年 3 月 6 日に就労移行支援事業・就労継続支援 B 型事業アス・ワークが完成した。

就労支援部門の施設が完成したことにより室内作業等のスペース確保に苦勞をしていたが、今後はより一層充実した支援に期待が持てる。収支面では、生活介護障害区分での配置加算収入が減少するとともに、施設整備の投資で第 6 期は経常ベースで僅かな黒字決算となった。今後も障害や高齢になっても生き生きと生活していくことを支えるというアス・ライフの理念を将来にわたって実現するため、経営の改善に取り組んでいく所存である。



就労移行支援・就労継続支援 B 型
アス・ワーク 完成

Ⅱ 実施事業報告

(1) 障がい者福祉サービス・介護保険に係る事業

1. 障がい者スポーツに関する研究・普及ならびに支援事業

1-1

事業名 障がい者スポーツ団体組織化および運営支援事業
概 要 山口県ボッチャ協会、事務局を山口市駅通り
1-3-10 アス・ライフ内に設置しており、
毎週金曜日及び毎月第3火曜日の夜に強化練習
を実施するなど、期を通して運営の支援を行っ
た。



1-2

事業名 障がい者スポーツ研修会・大会への参加
概 要 以下のスポーツ大会への障がい者の参加を支援した。

- ・平成26年度タンデム教室
平成26年5月10日 維新百年記念公園
- ・第14回キラリンピック大会（フライングディスク）
平成26年5月11日 山口きらら博記念公園会場
- ・第14回キラリンピック大会（陸上）
平成26年5月18日 維新百年記念公園他各会場
- ・山口県ボッチャ審判講習会
平成26年6月8日 山口市リフレッシュパーク
- ・第16回日本ボッチャ選手権大会大分予選大会
平成26年7月18日～20日 大分県べっぷアリーナ
- ・ボッチャキャンプ
平成26年8月31日 広島市心身センター
- ・第7回LESPOカップボッチャ大会
平成26年9月13日 太陽の家
- ・兵庫県ボッチャ大会
平成26年9月14日 兵庫県立障害者交流スポーツ館
- ・山口市ふれあいレク大会
平成26年10月19日 秋穂地域交流センター
- ・第14回キラリンピック大会球技の部
平成26年10月26日 維新百年記念公園アリーナ

- ・第49回スポレクフェスティバル
平成26年11月16日 美祢スポーツセンター
- ・山口県ボッチャ審判講習会
平成26年11月29日 山口市リフレッシュパーク
- ・第16回日本ボッチャ選手権大会
平成27年2月20日～22日 千葉ポートアリーナ
- ・第12回山口県障がい者交流ボッチャ大会
平成27年2月15日 維新百年記念公園アリーナ
- ・大分オープンボッチャ大会
平成27年3月7日～8日 太陽の家
- ・その他各大会各競技、定期練習、合同練習、強化練習の支援を期を通して行った。

2. 障がい者（児）および高齢者のデイサービス事業

2-1

事業名 日中活動系サービス事業

概要 障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障がい者総合福祉法）において、日中活動系サービスとして位置づけられるサービスを以下のとおり行った。

生活介護：定員25名、機能訓練：6名（平成26年1月より休止）生活訓練：定員6名、就労移行支援：定員12名。

他事業所ではサービス提供が少ない土曜日、祝祭日もサービス提供を行った。（年末年始休業は12月30日～1月3日）就労移行支援事業においては室内作業と屋外作業ともに活動内容が増えてきて利用者のニーズに沿ったサービス提供の体制を整えることが出来た。

社会福祉法人として5年目となり、地域に根差した、地



域により信頼される事業が行えるよう努めた。

支援学校からの卒業生の受け入れも増え、利用者増、同時に重度化への対応が必要となってきており、各関係機関との連携も密にしながら、支援を行っている。

生活介護・生活訓練での生産活動も軌道に乗り、毎月、生産活動に参加した利用者には少額であるが工賃の支払いができるようになった。リサイクル活動、自主製品の生産などの作業を通して役に立てる喜び、工賃を得られる喜びが感じられるよう支援している。

主な行事：

花見（４月４日、７日、８日、１０日、２９日）計４回
 りんご狩り（９月３０日、１０月６日、２４日）計３回
 クリスマス会（１２月２０日～２６日）計６回
 初詣（１月１３日、１５日、１６日、１９日）計４回



利用者数 登録利用者数（平成２７年３月現在）

- ・生活介護： ５６名
- ・機能訓練： ０名
- ・生活訓練： ３名
- ・就労移行： １１名
- ・自費： ０名
- ・合計： ７０名



述べ利用者数（平成２６年４月～２７年３月、事業日数：（３０８）日、単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活介護	366	396	360	380	385	382	388	356	381	359	357	381	4,491 (4,624)
機能訓練	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 (22)
生活訓練	41	42	43	37	32	33	35	29	33	24	27	32	408 (506)
就労移行	119	97	112	167	161	183	192	152	142	142	157	197	1,831 (1,836)
生活介護 自費利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 (0)
合計	526	535	525	584	578	598	615	537	556	525	541	610	6730 (6,988)

※（ ）は前年（平成２５年４月～２６年３月）実績

日中一時支援事業

利用者数 登録利用者数（平成２７年３月現在）

- ・日中一時： １８名

のべ利用回数（平成26年4月～27年3月）

（単位：名）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
80	86	102	105	93	94	102	92	95	90	100	111	1,150 (1,041)

※（ ）は前年（平成25年4月～26年3月）実績

2-2

事業名 放課後等デイサービス事業

概要 障害のある子どもたちが、日常生活を通して基本的な生活習慣や人・物とのかかわり方を習熟することで、社会適応をよりスムーズにできるように支援していく。また、障害の特性等を十分に把握理解し、より適切な支援をすることで、子どもたちが主体的、自立的に活動を促がしていく。そのためには、子ども一人ひとりに「できる状況づくり」などの環境を整えていく必要がある。



子どもたちが日中デイサービスをすることで、保護者、家族の介護・養育負担を軽減し、子育て支援の一助に資することができる。

利用者数 登録利用者数（平成27年3月現在）

64名（男子45名、女子19名）

のべ利用者数（平成26年4月～27年3月、事業日数：（306日）（単位：名）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
264	268	270	280	252	267	262	238	238	236	239	245	3,059 (3,127)

※（ ）は前年（平成25年4月～26年3月）実績

支援概要

4月当初は、新しい学齢児が昨年と同じく（8名）利用することとなった。自閉症児の割合も一段と高くなり、新しい環境の下、子どもたちが施設や友だち、支援者になれることが急務であった。異年齢の子どもたちが同じ空間で活動するためには、一人ひとりの子どもの個性（特性）をしっかりと把握し、支援することが必要不可欠であった。

4月の下旬には新しい子どもたちのケース会議をおこない、支援の目的、方法や配慮すべき事項などを共通理解することに努めた。定例の集中ケース会議（約一週間）



も前期・後期に行い全利用者の支援計画を明確にした。また月例の職員会議では気になる子どものケース会議も随時行った。

長期休業中（夏休み、冬休み、春休み）及び土曜日、祝日（14日）も多く子どもたちが利用し日ごろの放課後デイとは違って、活動内容も多岐にわたった。具体的には仁保の河川プール、身障者センターのプール、

維新公園のひょうたんプール、萩市のサンライフ萩、（土原プール）など

*公園関係・・・萩ウエルネスパーク、周防大橋となりの藤尾山公園、宇部市の河原谷公園、新亀山公園、維新公園児童センター、富田原公園、大歳公園、美東町道の駅公園、仁保道の駅公園、糸米砂防公園など

*科学関係・・・防府青少年科学館ソラール、県立博物館、市立図書館、NHKなど

*ショッピング・・・コスモス、ダイソー、フジグラン、レデイ、ゆめタウン、アルクなど

*調理関係・・・夏休みのカレー作り週間（一週間）、随時お菓子作りなど

多くの買い物体験や、調理体験、公共機関の利用などを通して生活をする力を育むことができ子ども自身が楽しく積極的の活動できたことが喜びである。

問題点及び課題

① 放課後等デイサービス事業

・常時、利用児童の定員が十分確保できている。年度当初から次年度の利用や2年先の利用予約を伴う見学者が多く、受け入れ困難な状況が引き続いている。（年度末現在待機児童が3名いる。）

・施設の手狭さが活動したい内容と、それを保障するためにはスペースを構造化し子どもの活動をスムーズにすることに苦慮した。

・上記と関連するが、他からの刺激を過敏に受けやすい子どもが多く、活動支援の効果がそがれることが多々あった。

・活動をスムーズにするため、室内・屋外活動を常に入れて活動の流れをつくり、メリハリを付けながら、興味や関心を高め、楽しく過ごせるようにしている。

・いろいろな障害を持った子どもたちが、多く利用している。基本的な障害の特性を十分に支援者が理解し、特化した支援方法を支援者全体で高めていき、より専門性の高いサービスを目指す必要がある。

・施設内全体はバリアフリー化しており、トイレの利用、室内のオープンスペースや個々のブースやパテーションで活動をしやすいはできている。子どもたちは自分の興味や関心あることに集中できている。

・自閉症児への有効な支援方法の情報入手や研修で、支援者の技量を一層、高めることが重要であ



る。

- ・生活年齢にも配慮した支援も必要である。

2-3

事業名 日中一時支援事業（児童）

概要

- ① 放課後等デイサービス事業と同じく、希望者が増加
- ② 傾向にある。職員を配置することが困難な場合が多い。
- ③ 報酬単価が低く、職員配置が難しい。



利用者数 登録利用者数（平成27年3月現在）

62名（男子42名、女子20名）

のべ利用回数（平成26年4月～27年3月）（単位：名）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
26	30	22	50	58	35	37	29	35	41	37	75	475 (260)

※（ ）は前年（平成25年4月～26年3月）実績

研修会・見学等（行事）

- ① 社会福祉法人新人職員研修会 該当者なし
- ③ 児童障がい者福祉施設中堅職員研修会 一部 6 / 24, 9 / 12
二部 7 / 24, 9 / 12
- ③ 児童・障がい者（児）福祉施設等福祉レクリエーション研修 12 / 11
- ④ 山口市自立支援協議会（定例会議） 山口市地域支援協議会（月例）
- ⑤ 〃 障害児部門会議（月例）
- ⑥ 生徒にかかる連絡会 山口大学附属特別支援学校 6月
山口総合支援学校 9月
- ⑦ 保護者会 「卒業後の進路選択について」講話 12月
- ⑧ 第7回お餅つき会 12 / 14
- その他 … 利用者アンケートの集計（別紙）

2-4

事業名 介護保険通所介護・介護予防通所介護事業

概要

訪問介護ステーション・通所介護サービス・居宅介護支援サービスを同事業所で行うことで一体化するとともに情報の共有化スピード化を図りより適切な介護支援が出来るようにした。

利用者の状況やご家族の意向を的確に把握し対応する事で、ご本人の生活や機能維持向上を図るとともにレスパイトケアに結びつくよう対処する。また、商店街に近い立地の為、利用者からの買い物の依頼にも対応し易くヘルパーステーションでは時間の節約にもなっている。また、日常生活の中で日々の生活・季節感・社会生活・交流が出来るよう計らう。



認知症の高齢者が増すと共に認知症の利用者が増加している。ますます認知症への理解と対応が必要になってきている。今後の高齢化社会を鑑み障がい者福祉サービスのアス・ライフとの連携も視野に入れ障がい者の高齢化要介護に適応できるよう連絡をとる。



近隣高齢者や地元地域住民との交流も考慮し季節ごと、もしくは年間恒例行事等地域貢献も積極的に立案・実行してゆく。

年間行事

1) レクリエーション

- 1月：初詣 2月：節分（豆まき） 3：お雛様（記念写真）
- 4月：お花見 5月：藤棚散策 7月：そうめん流し
- 10月：りんご狩り 11月：クリスマス会

利用者数 登録利用者数（平成27年3月現在）

- ・介護保険通所介護 ： 18名
- ・介護予防通所介護 ： 5名
- ・合計 ： 23名



のべ利用回数（平成26年4月～27年3月）

（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険	171	177	182	192	184	188	182	165	170	161	164	157	2,093 (1,517)

※（ ）は前年（平成25年4月～26年3月）実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計

介護予防	21	21	20	23	24	22	29	25	15	23	17	17	257 (402)
合計	192	198	202	215	208	210	211	190	185	184	181	174	2,350 (1,919)

※（ ）は前年（平成25年4月～26年3月）実績

2-5

事業名 居宅介護支援事業

概要 介護認定を受けた高齢者の介護サービス計画を立案し、本人の意向のもとサービス事業者を選定紹介し適切な対応を依頼し、対応状況を確認する。介護認定を受けていない高齢者の介護認定の支援をする。認知症や機能障害で介護の必要な高齢者または要介護認定者の支援をするとともに介護者（おもに家族）のレスパイトケアを行う。

近年の介護方針は特に認知の予防に重点がおかれ包括的予防ケアを全面的に押し出す施策となってきた。いかに重度になる前に予防するのかが大切に各ケアプランを提案する事が必要になっている。また民間の有料老人ホームが多く出来それぞれの良し悪しをしっかりと把握しなくてはならない。より正確な情報を提供出来る様、事務所の見学をし安心して介護サービスが受けられる様にしてゆきたいと考えている。

利用者数 登録利用者数（平成27年3月現在）

・居宅介護支援 : 21名

のべ利用回数（平成26年4月～27年3月）

（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険	15	17	18	18	18	19	19	20	20	21	20	21	226 (172)

※（ ）は前年（平成25年4月～26年3月）実績

3. 障がい者スポーツ用品製作及び販売

3-1

事業名 障がい者スポーツ用品の試作・製作

概要 アス・ライフにおいて、必要とする利用者さんに適したボッチャ用具、関連用具のメンテや製作を行った。

4. 障がい者（児）および高齢者の居宅訪問介護サービス事業

4-1

事業名 居宅介護事業（障がい者自立支援）

概要 障がい者の在宅での自立生活を支援するため、山口市内外の利用者に居宅介護および重度訪問介護のサービス提供を行った。

利用者数 登録利用者数（平成27年3月現在）

- ・居宅介護 15名
- ・重度訪問介護 3名
- 合計 18名

・訪問介護 のべ利用回数（平成26年4月～27年3月）（名）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
141	137	140	138	141	139	138	126	78	69	71	74	1,392 (1,763)

・重度訪問介護

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5	5	6	6	6	5	7	5	6	5	7	6	69 (95)

※（ ）は前年（平成25年4月～26年3月）実績

4-2

事業名 訪問介護事業（介護保険）

概要 高齢者の在宅での自立生活を支援するため、介護もしくは支援を要する高齢者に介護保険訪問介護・介護予防訪問介護サービスの提供を行った。



利用者数 登録利用者数（平成27年3月現在）

- ・訪問介護： 20名
- ・介護予防： 33名
- ・経過予防介護： 0名
- 合計 53名

述べ利用回数（平成26年4月～27年3月）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険	286	267	289	282	271	312	295	296	291	302	356	382	3,629 (3,638)
介護予防	169	195	187	208	211	225	218	190	217	188	244	255	2,507 (2,232)

合計	455	462	476	490	482	537	513	486	508	490	600	637	6,136 (5,870)
----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------------------

※（ ）は前年（平成25年4月～26年3月）実績

年間行事

1) ヘルパー会議

- H26年 5月 ヘルパー会議・研修（脱水症、水分補給）
7月 ヘルパー会議・研修（薬の飲み方効用）
9月 ヘルパー会議・研修（呼吸器系疾患）
11月 ヘルパー会議・研修（訪問介護事故例 法律知識）
H27年 1月 ヘルパー会議・研修（認知症について）
3月 ヘルパー会議・研修（高齢者虐待）

5. 障がい者ならびに障がい者についての啓発に関する事業

5-1

事業名 講師派遣事業

概要 障がい者に対する社会の正しい認識を高めるため、各種団体・小中学校・施設などの講演への講師派遣を行った。

5-2

事業名 同行援護従事者養成研修

概要 平成17年から実施している視覚障害者移動介護従事者（ガイドヘルパー）養成研修が同行援護に改正されて、2回目の同行援護従事者養成研修を平成26年6月1日・8日・15日・22日の4日間で実施した。毎回受講生から好評の藤尾幸恵氏（歩行訓練士）をメイン講師に招きアス・ライフで研修を実施した。視覚障がい者の心理、白杖の使い方、視覚障がい者の食事の介助、商店街での外出など、同行援護の知識・技能を習得した人材を育成した。今期の研修は、一般課程33名、応用課程18名の述べ51名が修了した。



6. 障害者総合福祉法に基づく移動支援事業

6-1

事業名 移動支援事業（地域生活支援事業）及び同行援護事業

概要 全身性障がい者の移動支援（地域生活支援事業）及び視覚障がい者の同行援護事業を行った。

移動支援は、地域生活支援事業の一つとして障がい者に提供される福祉サービスであり、事業所は利用者が居住する各市町と事業委託契約を結んでサービス提供を行う。視覚障がい者の同行援護は法改正により新たに始まった制度である。外出時

の介助が必要な障がい者にとって、きわめて有意義な制度であり、アス・ライフがとくに力を入れている事業の一つである。サービス提供と従業者養成研修を合わせて実施してきたことで、行政担当者や利用者の間での認識が高まってきたものと自負している。

利用者数 登録利用者数 (平成27年3月現在)

- ・全身性： 27名
- ・視覚障害： 17名
- ・知的： 5名
- 合計： 49名



述べ利用回数 (平成26年4月～27年3月)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
全身性	118	120	116	134	127	144	152	109	81	92	91	96	1,380 (1,070)
視覚	111	114	110	130	122	138	149	135	114	143	121	125	1,512 (330)
知的	7	6	6	5	5	6	4	5	8	10	10	11	83 (0)
合計	236	240	232	269	254	288	305	249	203	245	222	232	2,975 (1,400)

※ () は前年 (平成25年4月～26年3月) 実績

Ⅲ. その他の活動 (社会貢献)

(1) 「介護等の体験」実習生の受け入れ

教育職員免許法の特例にもとづく山口県社会福祉協議会の依頼により、「介護等の体験」実習生を年間を通して受け入れた。

今期は、合計40名 (山口大学) の実習生を受け入れ、H26.6/16～12/19の間に、アス・ライフにて12名、H26.6/10～H27.1/9の間に大市デイサービスセンターにて28名、それぞれ月曜から金曜まで各々5日間の実習をおこなった。

(2) ボランティアの参加

今期は、囲碁、将棋、クリスマス、もちつき大会など、62名の方がボランティアとして参加し、レクリエーションやボッチャ等のスポーツ活動の支援をしてくださった。



(大市デイサービスセンター 10名 / フォア・ア 46名 / アス・ライフ 6名)

VI. 法人の運営に関する事項

(1) 平成26年度理事会・評議委員会の開催

○理事会

平成26年 5月24日 第1回理事会

平成26年 9月25日 第2回理事会

平成27年 3月25日 第3回理事会

○評議員会

平成26年 5月24日 第1回評議員会

平成26年 9月25日 第2回評議員会

平成27年 3月25日 第3回評議員会

特記事項

H25年度事業報告、決算報告、監査報告及びH26年度事業計画案及び予算案について承認。就労移行・就労継続支援施設の入札建設業者承認。独立行政法人福祉医療機構及び萩山口信用金庫借入承認。アス・ワークの土地建物基本財産定款計上において承認。

(以上)